(3) 指導者による語彙等の解説を聴きながら日本語に訳し、細かい点を確認していきます。

2. 聴いてみよう！

読解による内容把握ができたら、耳で聴いて内容を再確認します。
(1) まずテキストに頼らずに、全文を聴きます。一度で聴き取れない場合は2～3回音声を聴きます。

(2) 続いて設問を聴き、選択肢から適切な答を選びます。

(3) 答合わせをします。

☞「読んでみよう！」「聴いてみよう！」では、学習者は自分の弱点に気づくことが大切です。例えば、語彙力の不足、リスニング能力の不足、それぞれの単語の意味は理解できても文章全体が理解できない（読解力の不足）といった問題点です。

3. 英語の学習を効率的に進めていくうえで、特に基礎力をつける段階では、文法の学習を無視することはできません。補足説明を聴きながら文法解説を読み、**「確かめよう！」**で自分の理解度を診断します。

4. 最後の**「表現してみよう！」**では、それまでに学習したことをもとに、自分のことについて語ったり、書いたり、*ロールプレイしたりすることで、英語を発信していく能力を身につけます。
*ロールプレイ：本文の会話にならって、それぞれ役割を決めて演じること。

最後に、本書の出版にあたりましては、朝日出版社社長　原雅久氏、第一編集部　日比野忠氏に多大なるご尽力をいただきました。また、著者の1人がイギリスに留学して以来の知人である元大学教員のDavid Preston氏は、自らご厚意で英文校閲を引き受けてくださいました。この場を借りて御礼申し上げます。

2013年10月

著者一同

Contents

はじめに

Unit 1 歓迎パーティーで …… 2
— 自己紹介をする
be動詞の現在形 — be動詞の意味と働き；be動詞の活用
be動詞の否定文・疑問文

Unit 2 家族を紹介する …… 8
— 人を紹介する；人について語る
一般動詞の現在形 — 一般動詞とは；現在形の疑問文・否定文

Unit 3 週末の出来事 …… 14
— 過去の出来事について語る
過去形 — 現在時制；過去時制；過去形の活用；過去形の疑問文・否定文

Unit 4 クラスメートからの電話 …… 20
— 電話での会話
現在進行形 — 現在形と進行形の違い；現在進行形の形
現在進行形の疑問文・否定文

グラマーポイント　その1 — 疑問詞で始まる疑問文 …… 26

Unit 5 週末の計画 …… 28
— 未来のことや予定について話し合う
未来時制 — 未来の表し方とそれぞれの持つ意味
未来時制の疑問文・否定文

Unit 6 道をたずねる …… 34
— 道順をたずねる
助動詞 — 助動詞の持つ意味；助動詞の語順
can と be able to；must と have to

Unit 7 カフェで注文 …… 40
— レストランやカフェで注文する
名詞・冠詞 — 名詞とは；可算名詞；不可算名詞；冠詞とは

Unit 8 買い物をする …… 48
— おみやげを買う
代名詞 — 人称代名詞；itの用法；指示代名詞；不定代名詞

Unit 9 クラスのことを話す …… 56
— 人や物の様子について語る
形容詞 — 形容詞とは；形容詞の位置；数量を表す形容詞

Unit 10 歯医者へ行く …… 62
— 体の不調を訴える
副詞 — 副詞とは；副詞の語形；副詞の位置

Unit 11 授業で発表する …… 70
— 日本のことを紹介する；東京とロンドンを比較する
比較 — 原級による比較；比較級による比較；最上級による比較
不規則に変化する語

Unit 12 日々の生活をつづる …… 76
— 日常の出来事を伝える
前置詞 — 前置詞とは；場所を表す語（句）に付く at/on/in
時を表す語（句）に付く at/on/in

グラマーポイント　その２ — 文型のはなし …… 86

Unit 13 さよならパーティーの準備 …… 88
— パーティーの準備をする
受動態 — 受動態の形；受動態の疑問文・否定文
注意すべき受動態

Unit 14 さよならパーティーで …… 96
— パーティーでの会話
現在完了形 ① — 現在完了形の基本形
現在完了形の用法—完了・結果、経験

Unit 15 旅立ちの日 …… 104
— 別れのあいさつ
現在完了形 ② — 現在完了形の用法—継続
注意すべき副詞語句

付録　不規則動詞の活用変化表 …… 111

English Once More!

Unit 1　歓迎パーティーで：be 動詞の現在形

テーマ

自己紹介をする

グラマーポイント

- be 動詞の意味と働き
- be 動詞 (am, are, is) の活用
- be 動詞の否定文・疑問文

英文を支える大黒柱はなんと言っても「**動詞**」です。この動詞の役割と意味を理解しておくことが、英語を理解し発信していく上でとても重要です。まずは動詞から学習をスタートさせましょう！

読んでみよう！

Hiro が通うことになったロンドンの語学学校で a welcome party（歓迎会）が催されています。勇気を出して、近くにいた学生に声をかけてみました。

Track 2

Hiro: Hello. I am Hiro. *Nice to meet you. What is your name?
Mario: My name is Mario. Nice to meet you, too. Where are you from?
Hiro: I am from Japan.
Mario: *Oh, really? I'm from Italy. I'm an *office worker. Are you a student?
Hiro: Yes, I am. I am a university student....

(注) ***Nice to meet you.***: はじめまして。(初対面の相手には Nice to meet you を、以前会ったことがある相手と再会した場合には、Nice to see you を使う)
Oh, really?: ああ、そうですか。
an office worker: 会社員

聴いてみよう！　全文を聴いて、選択肢から適切な答を選びましょう。

Track 3

1. Where is Mario from?
   a. He is from Italy.　**b.** He is from Spain.
2. Is Mario a university student?
   a. Yes, he is.　**b.** No, he isn't.
3. Is Hiro a university student?
   a. Yes, he is.　**b.** No, he isn't.

英語の動詞は **be 動詞**と**一般動詞**の 2 つに分類されます。ここでは、まず be 動詞について学んでいきましょう。

1 be 動詞の意味と働き

(1) I **am** a student.　私は学生**です**。

上の例にあるように、**am** は日本語の「**～です、～である**」に相当する意味をもちます。他の例文も見てみましょう。

(2) I **am** a cat.　我輩は猫**である**。
(3) I **am** 21 years old.　私は 21 歳**です**。
(4) I **am** happy.　私は幸せ**です**。

be 動詞のすぐ後に場所を表す語句がくると、「**～にいます、～にいる**」という**存在**を表す意味となります。

(5) I **am** in the library.　私は図書館に**います**。
　　います　図書館に
(6) I **am** in England.　私は英国に**います**。
　　います　英国に
(7) I **am** at home.　私は家に**います**。
　　います　家に

☞ 例文中の in や at は（～に）を意味する前置詞です（Unit 12 参照）。

ⓘ 語順に注意！

お気付きのように、日本語と英語とでは語順に違いがあります。
日本語では主語・・・・最後に動詞がきます。

私は　学生　です。
主語 ・・・・・ 動詞

英語では主語のすぐ後に動詞がきます。

I　am　a student.
主語 ＋ 動詞

ポイント１

be 動詞は人や物（事）の状態（～です、～である）や存在（～にいます、～にいる）を表します。

2 be 動詞の活用

be 動詞は主語によって **am**, **are**, **is** の３つに変化します。この変化を**動詞の活用**と呼びます。

主語が、

「１人称」・・・自分自身「私」である場合
　　I　**am** ....

「２人称」・・・目の前にいる相手「あなた」である場合
　　You　**are** ....

「３人称」・・・私、あなた以外の第３者（人、物、動物など）
　　He **is** .....　She **is** ....　It **is** ....　My father **is** ....

ただし、複数の場合は１人称であっても２人称であっても、はたまた３人称であっても、

We（私たち）**are** ....
You（あなたたち）**are** ....
They（彼ら、彼女ら、それら）**are** ....
　　} とすべて **are** で受けます。

ポイント２　**動詞の活用**

	単数	複数
１人称	I am=(I'm)　私は～です。	We are=(We're) 私たちは～です。
２人称	You are=(You're) あなたは～です。	You are=(You're) あなたたちは～です。
３人称	He is=(He's) 彼は～です。 She is=(She's) 彼女は～です。 It is=(It's) それは～です。	They are=(They're) 彼ら、彼女ら、それらは～です。

＊（　　）の中は短縮形です。主に会話体でよく用いられます。

確かめよう！

（　　）に適切な be 動詞 (am,are,is) を入れてみましょう。

1. My name (　　) Ken.　　私の名前はケンです。
2. I (　　) a programmer.　　私はプログラマーです。
3. You (　　) very tall.　　あなたは背がとても高いですね。
4. My dog (　　) in the garden.　　私の犬は庭にいます。
5. These bags (　　) expensive.　　これらのバッグは高価です。
6. My father (　　) an English teacher.　　父は英語の教師です。
7. We (　　) in the classroom.　　私たちは教室にいます。
8. Jason and I (　　) good friends.　　ジェイソンと私は仲良しです。
9. They (　　) foreigners.　　彼らは外国人です。
10. Her hair (　　) blond.　　彼女は金髪です。

3 be 動詞の否定文・疑問文

「～ではない。」と否定する否定文、「～ですか？」と相手に尋ねる疑問文を学習しましょう。これらをマスターすることで表現の幅がぐっと広がりますね。

● **否定文の作り方：主語＋ be 動詞 + not ～**

☞ 否定の意味を待つ not を be 動詞の直後に置きます。

I am a student.　→ (8) I am **not** a student.
　　⇒ (9) I'm　**not** a student.　☞ I am の短縮形 = **I'm**
私は学生です。　　私は学生ではありません。

● **疑問文の作り方：be 動詞 + 主語～？**

(10) You **are** Japanese.　→　**Are** you Japanese?
あなたは日本人です。　　あなたは日本人ですか。
☞ 最後に？（クエスチョンマーク）を忘れずに！

● **疑問文に対する返答は**

Yes（はい）の場合	No（いいえ）の場合
Yes, I am.	No, I am not. / No, I'm not.
Yes, you are.	No, you're not. / No, you aren't.
Yes, he/she/it is.	No, he's not. / No, he isn't.
	No, she's not. / No, she isn't.
	No, it's not. / No, it isn't.
Yes, we/you/they are.	No, we're not. /No, we aren't.
	No, you're not. /No, you aren't.
	No, they're not. /No, they aren't.

ポイント３

否定文・・・主語＋ be 動詞＋ not ～ .　I **am not** Japanese.
疑問文・・・be 動詞＋主語～？　**Are** you Japanese**?**

確かめよう！

次の英文をそれぞれ否定文と疑問文に書き換えましょう。

1. This is Mr. Thompson.　こちらはトンプソン氏です。

否定文 _____　疑問文 _____

2. He is my colleague.　彼は私の同僚です。

否定文 _____　疑問文 _____

3. They are American.　彼らはアメリカ人です。

否定文 _____　疑問文 _____

4. It is cold today.　今日は寒いです。

否定文 _____　疑問文 _____

5. I am *innocent.　私は *無実です。

否定文 _____　疑問文 _____

表現してみよう！

自分自身について語ってみましょう。

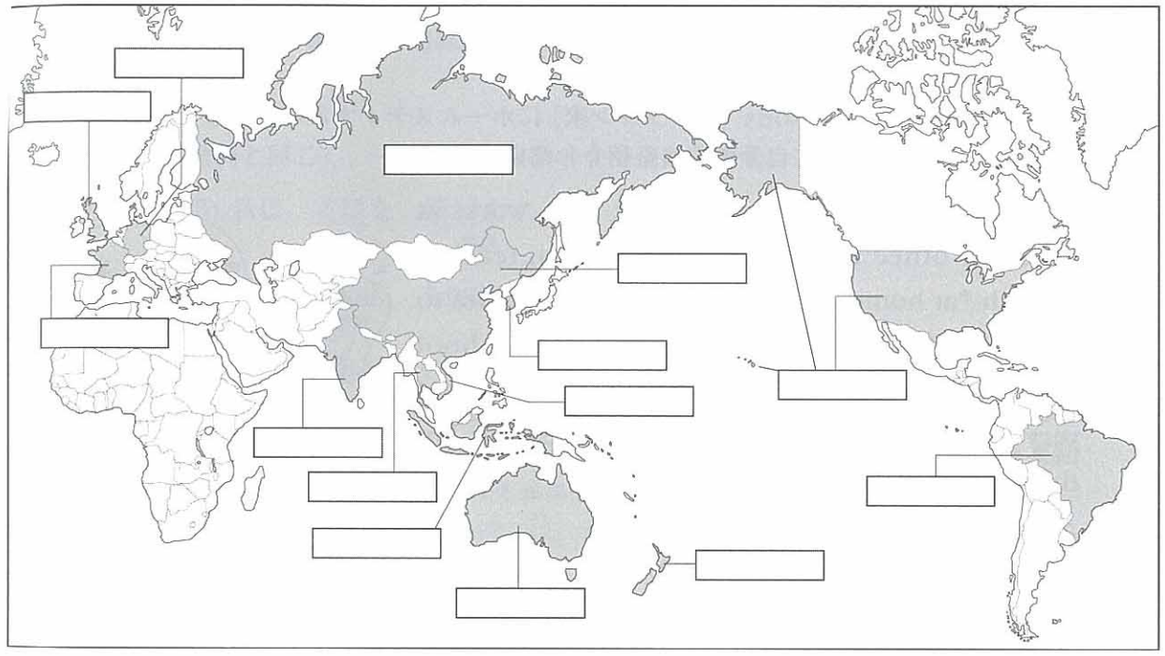
Maria: Hello, I'm Maria. What's your name?
You: My name _____.
Maria: I'm from *Greece. Where are you from?
You: I'm _____.
Maria: Nice to meet you.
You: _____.

（注）*Greece/gríːs/［グリース］：ギリシャ

クイズ 1— 以下の国の名前を英語で言えますか？

1. 英国
2. フランス
3. ドイツ
4. ロシア
5. アメリカ合衆国
6. ブラジル
7. 中国
8. 韓国
9. ベトナム
10. タイ
11. インドネシア
12. インド
13. オーストラリア
14. ニュージーランド

クイズ 2— 世界地図に、1 ～ 14 の国を見つけ、□に番号を書き入れましょう。



コラム

２ページのイラストで、２人が握手していますね。英語圏の文化では、特に初対面の人と挨拶する時には、握手をかわすのが礼儀です。ここで恥ずかしがって目をそらしたり、手を強く握らなかったりすると、失礼に当たることにもなりかねません。相手の目を見て固い握手をかわすのは、日本人がお辞儀をして挨拶するのと同じことなのです。こうした異なる文化を知り、それを思い切って実行するのも、英語を学ぶ上では大切なことなのです。